

## 特集

# 歩み続ける「富士見町」 ～町民の皆様と共に～



昭和43年7月に創刊号が発行された「広報ふじみ」が、今月号で500号となりました。これまで、町の施策や制度、各種大会やイベント情報、そして子どもたちの笑顔や、家族の絆などお伝えしてきました。今月は500号記念として、今までの「広報ふじみ」が時代の流れと共に重ねてきた姿を振り返ります。

## 広報の歩み



### 創刊号

昭和43年7月1日発行  
B5判1色刷り 4ページ

町の行政を進めていく上で、昭和36年に事務改善を行い、その後の各係業務内容を掲載。写真は、一里塚（御射山神戸）

## 100号

昭和53年7月10日発行  
B5判1色刷り（表紙のみカラー） 10ページ

特集／「私たちが夢見る富士見町」として、町内6年生8名が当時の三井春富町長を囲み、座談会をした時の様子を掲載しています。

より良い町づくりを進めるためにには、住民の皆様と行政の情報共有が必要不可欠であり、そのための手段として「広報ふじみ」の果たす役割は大きなものとなります。

### 共有する

「広報ふじみ」により発信した情報が、正確に皆様へ伝わる。それは皆様と行政が情報を共有したということです。同じ情報を持ち、同じ意識を共有することで、対等な関係ができます。

広報づくりで大切なことは、「読まれること」「家庭内で話題になること」「考える素材を提供すること」「行動を起こさせること」と思います。

行政広報の場合は、住民の皆様と行政とが、より良い関係を築いていくことが目的になります。また、広報誌は行政からの一方的な情報の提供だけではなく、皆様からの意見を取り入れた「双向性の広報誌」であることが求められます。

### 広報誌の役割

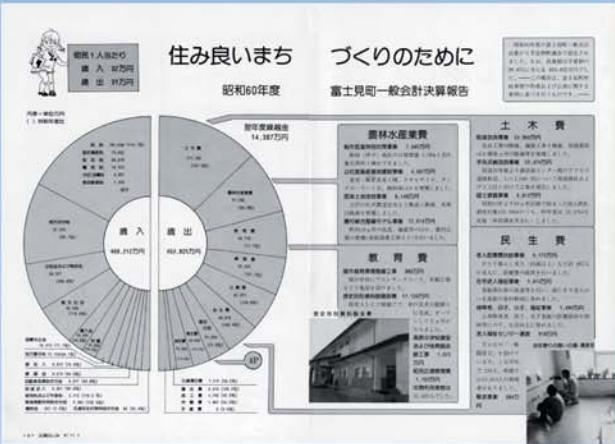
「広報」の語源は「Public Relations」（パブリック・リレーションズ）で、直訳すると「大衆・公衆との関係」

## 200号

昭和61年11月1日発行  
B5判1色刷り 12ページ

昭和60年度一般会計決算報告が掲載されました。歳入46億8,212万円、歳出45億3,825万円、町民一人当たりは歳入32万円、歳出31万円でした。

表紙の写真は「シリーズ人間」と題し、毎月各集落から選ばれた方が掲載されています。



## 300号

平成7年3月1日発行  
A4判1色刷り 14ページ

特集／42年の歴史が生まれ変わる（富士見高原中学校全面改築に向けて）……昭和28年4月に18学級853名の生徒を迎え、開校してから42年間。この校舎で学んだ卒業生は8千人を超ました。新校舎の概要と工事計画などが掲載されています。

表紙の写真は、境保育園の卒園記念写真。

## 400号

平成15年7月1日発行  
A4判2色刷り 16ページ

「わたしたちの生活と市町村合併」と題して、諏訪地域6市町村合併の概要、財政措置などが掲載されました。この年12月に住民投票が行われ、投票率67.2%で合併反対数5千790票（有効投票数の67.4%）、賛成投票数2千805票（有効投票数の32.6%）でした。

表紙の写真は、消防ポンプ操法大会の様子。



「広報ふじみ」は、これか  
らも町民の皆様が「この町  
に住んでいて良かった」と  
思えるような町の魅力を探り、  
皆様と共に歩み続けます。

500号の発行は、節目で  
あるとともに通過点でもあ  
ります。

そんな富士見町には、先人から  
探ることで、私たちの中に、  
町への愛着や誇りが生まれ  
るのではないか。どうか。  
記念すべき「広報ふじみ」

このことは、最近よく耳  
にする「協働の町づくり」  
の基本でもあります。「町づ  
くり」の主役が、この町に  
住んでいる皆様一人ひとり  
であることは言うまでもあ  
りません。

### 町の魅力を探る